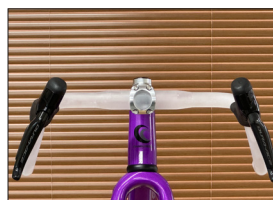


未発表特集

【ナローフレアハンドル】

今やひとつのカテゴリーとなりつつあるナローサイズのフレアハンドル。2023 年から特に要望が増え始めたことにより、アルミでの Dixna ブランドで設計を進めました。UCI の最狭規則に準ずるレバー部分の外幅を 350mm (芯 - 芯で約 330mm) とし、フレア角・リーチ・ドロップ・ショルダー角はレースシーンでの巡航及びスプリントでの使用を想定しています。勿論 FZ (フィットゾーン) 機能を設定しており、少し広めのサイズも用意します。

※ 2025 年初めの販売予定です。



▲トップは UCI 最狭規則でフレアも程よい状態、レバー取り付け角度にも余裕があります



▲浅過ぎず深過ぎずのドロップに FZ 機能を設定しサイドビューにも違和感はありません



▶まずはモックアップで検証し実際にレバーを取り付けポジションチェックを行います

【セブンピース S2 パームアーレンキー (名称未定)】

ハードライドの現場からの要望は・・・日本の奥深い里山での MTB やグラベルライドで、コンパクトでありながら精度が高く、多くのサイズに対応する独立したサイズ群を持ち、それらを紛失することなく携帯することができる機能のあるアーレンキーが必要、というものでした。

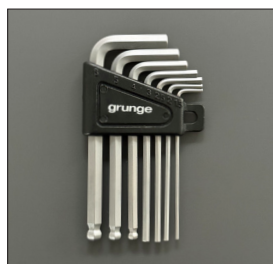
コンパクトである点については、縦 90mm 以内、横 50mm 以内、幅は 10mm 程度。種類は、1.5mm/2mm/2.5mm/3mm、

そしてエンドがボールタイプの 4mm/5mm/6mm の全 7 種類。

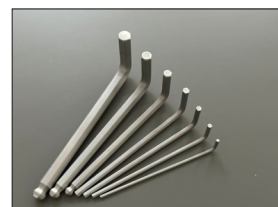
素材は、「S 2 (鋼鉄にバナジウムとシリコンを含む合金鋼の一種)」で、通常よく使用されている「CRV (クロムバナジウム鋼)」よりも高硬度で固く角が舐めにくく、トルクをかけても曲がりにくい性質を持っています。よく細い精密ドライバーに使用される材料で耐久性も高く、自転車の各部ハードパーツへの使用に向いています。

※ 2025 年初めの販売予定です。

※ S2 素材のロングアーレンキーも開発中です。



▲非常にコンパクトに仕上げられておりセットにすると局部突起がありません



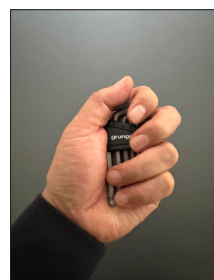
▲1.5mm を含むこ一番で助かる 7 種類のアーレンキーがセットになっています



▶90×50×10mm のコンパクトさを各所サイズを合わせてバランスしています



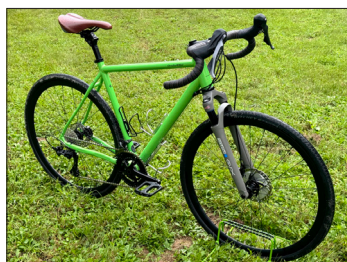
▲バランスがよく掌にスッポリ収まりポケットに入れても違和感がありません



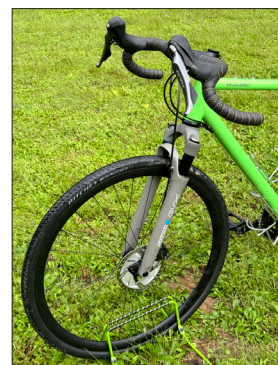
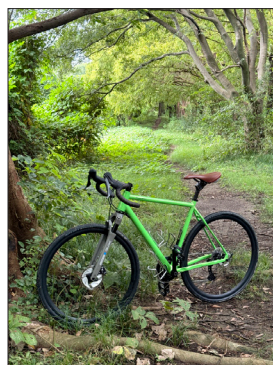
【JFF #901 & SR SUNTOUR】

マルチモデルにグラベル系サスペンションフォーク「GVX32」を設定します。Vol.70 でも掲載していますが JFF#901 はランドナーからグラベル及び MTB 系フラットハンドル&フォークなどの設定に対応するマルチパフォーマンスモデルです。このモデルに新たに SR SUNTOUR のグラベルサスの選択が可能になります。アクションシーンから過酷なロングライドなど欧米仕込みの設計は冒険シーンを快適に誘うでしょう。

※ 2025 年初めの販売予定です。



▲ JFF#901 に違和感なく装着された GVX32



▲700×45C 対応 (写真のフレームは L サイズです) ※最終仕様は写真と異なります。